

平成 28 年(2016 年)熊本地震復興応援企画

ヒノクニ

瀧下和之・武田双雲・山本太郎

会期・会場:9月21日(水)→27日(火)※最終日は午後4時閉場 日本橋高島屋6階美術画廊

10月1日(土)→17日(月)※最終日は午後4時閉場 新宿高島屋10階美術画廊



3人合作「ココロむすぶ。キモチつながる。」F30号

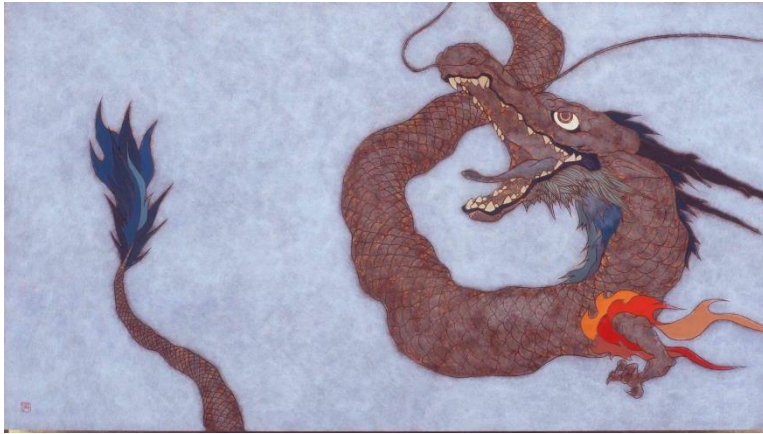


3人合作「希望」F30号

本年4月14日(木)、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生し、さらにその28時間後の4月16日(土)には、同じく熊本県熊本地方を震源とする、マグニチュード7.3の地震が発生し、2度の災害に見舞われました。

「この地震による甚大な被害に際し美術家として出来る事を・・・」との思いから、瀧下和之氏のお声がけにて熊本出身の3名の美術家によるチャリティ展を企画いたします。

瀧下和之(日本画家)・武田双雲(書家)・山本太郎(日本画家)の3人は2011年3月2日(水)～14日(月)の期間、新宿高島屋の美術画廊において「九州新幹線全線開業記念 ヒノクニ 瀧下和之・武田双雲・山本太郎」を開催しました。会期中の3月11日に「東日本大震災」が発生し、開業記念催事が軒並み自粛になるなどを経験した経緯もあり、今回3人で地元熊本で起きた震災に対して「美術家として力になれることを行いたい」という共通の意志の元、チャリティ展を企画開催するものです。本展の売上の一部を、各作家より熊本県に寄付いたします。



瀧下和之「雲竜図」 65.2×116.7cm



武田双雲「優」21.5×24.0cm

1974・75年に熊本県に生まれた3人。鬼をモチーフにした作品で知られる瀧下和之氏とニッポン画を提唱する山本太郎氏は、それぞれが諧謔・ユーモアに満ちた独自の絵画表現で人気を博しています。また、書道家 武田双雲氏は、その持ち前のキャラクターで講演・ライブパフォーマンスや企業広告などでも幅広く活躍されています。

本展では、各作家一人につき美術画廊の壁面約15mの範囲に「新・近作」をご出品いただく他、各作家の「合作作品」も発表いたします。

＜合作作品について＞※作品点数は予定です。

《サイズ10号S》瀧下和之氏×武田双雲氏…2作品、
武田双雲氏×山本太郎氏…2作品、山本太郎氏×瀧下和之氏…2作品
《サイズ30号S》瀧下和之氏×武田双雲氏×山本太郎氏…2作品

＜イベント＞

○瀧下和之氏・山本太郎氏によるギャラリートーク

- ・日時:9月24日(土) 午後3時より
- ・会場:日本橋高島屋6階美術画廊

○瀧下和之氏・武田双雲氏・山本太郎氏によるトークショー

- ・日時:10月14日(金)午後2時より
- ・会場:新宿高島屋2階ウエルカムゾーン



山本太郎「肥後椿清涼飲料水紋図」

33.3×24.2cm

※「ヒノクニ」とは・・・熊本を中心とする地方が古代「火の国」あるいは「肥の国」と呼ばれていたことから、3人で展覧会を開催する際に使われています。

【お問い合わせ】

日本橋高島屋 TEL 03-3211-4111(代表) / 新宿高島屋 TEL 03-5361-1111(代表)